



# 楠の葉

佐賀大学同窓会報 第19号

発行日 2013年7月1日

発行 佐賀大学同窓会

佐賀市本庄町1 佐賀大学内  
TEL 0952-23-1253  
FAX 0952-25-5700  
E-mail dosokai@ai.is.saga-u.ac.jp  
ホームページ http://dousou.ext.saga-u.ac.jp

編集代表者 中島道夫



## 理事長就任に当って

理事長 田中正和 (理工学部・昭和48年卒)

私は、この度佐賀大学同窓会の理事長に就任しました。

思えば10年前、佐賀医科大学との統合により、現在の佐賀大学同窓会となるとときに理事長を務め、その10年後に再び理事長として業務を遂行することとなりました。

おりしも、国際的ILC研究施設の設置場所として、東北の北上山地と九州の脊振山系、アメリカ、スイス、ロシア各1か所の計5か所が候補になっていますが、日本のいずれかの地域が選ばれる可能性が大きいようです。

このILC (International Linear Collider) とは、地中に建設された全長30~50kmの直線型の加速器を用いて光速近くまで加速させた電子と陽電子を衝突させる実験施設で、宇宙誕生のビッグバン直後を再現し、宇宙創生や物質誕生の謎に迫るのが目的とされています。

中でも最大の目当ては、万物に重さを与えたとされる「ヒッグス粒子」の研究にあり、スイスにある円形加速器では、ヒッグス粒子を見つけることはできたものの、その性質を詳しく分析することは難しく、ILCならそれが可能であるとされています。

本年、7月中にも研究者グループが「日本での適地」を1か所に絞り込むとあって、佐賀・福岡の脊振山系での誘致活動も熱を帯びています。

この施設からは、ノーベル賞級の成果が得られるかも知れないので、是非とも脊振山系に建

設されることを切望しています。実現すれば、佐賀大学関係の研究者から受賞者が決まることも、あり得ない話ではないと思われます。

一方、我が国の大学改革は、待ったなしとなっています。すでに、旧帝大系大学を中心とした大学群を基本とするという全体像ができています。

佐賀大学をはじめ、地方の大学は、統廃合の嵐に飲み込まれる運命にあります。この嵐から抜け出るための特色の一つとして、美術館の建設があります。全国の国立大学の中でも、自前の作品群を集められる美術館を持つ大学は、佐賀大学の他には、全国に1か所しかないようです。

旧帝大系を含め、各大学は建設費を準備することはできても自前の作品群は準備できません。

今度の佐賀大学美術館は、絵画等の美術作品を展示するだけでなく、都市工学系の都市デザイン等の作品や農学系を含めた各種の発明品等の佐賀大学産の情報発信施設としての機能も設定されるようです。

具体的には、農学部発のグレープフルーツ「さがんルビー」、塩味の野菜「バラフ」、オリジナル清酒「悠々知酔」等々があります。

こうした佐賀大学の動きの中で、我が同窓会の会務を執行する理事長として、佐賀大学同窓会の運営を行っていきたいと考えています。

## 平成25年度春期定例役員会

### 新役員と事業計画、予算を決定

平成25年度春期定例役員会を4月18日(木)、佐賀大学「菱の実会館」で開催し、平成24年度事業報告・決算報告と平成25年度事業計画・予算案を承認した。

#### I. 平成24年度事業報告

##### 1. 会報発行事業

佐賀大学同窓会報「楠の葉」17・18号発行。佐賀大学広報「かちがらす」24・25・26号を会員に送付。

##### 2. 事業活動

###### 1) 支部総会への参加

会長、理事長はじめ各学部同窓会から出席

###### 2) 佐賀大学との意見交換会

大学から11名、同窓会から13名参加

###### 3) 校友会への支援

3,340,000円納入

###### 4) 単位提供講座

「キャリアデザイン講座」にOB講師10名

###### 5) 就職支援

平成24年11月14日(木)、就職内定者との懇談会

###### 6) 第20回佐賀県青春寮歌祭

平成24年11月17日(土)、30名参加

佐賀大学混声合唱団応援参加

##### 7) 開学祭支援事業

第15回本庄地区大学祭、第34回医学部むつごろう祭に資金援助

##### 8) 懇話会〔学習会〕

平成24年6月7日

第3回 講師 経済学部副学部長 山下 壽文 氏

平成24年11月8日

第4回 講師 佐賀新聞社編集局長 富吉賢太郎 氏

#### II. 平成25年度事業計画

平成25年度事業の継続と充実を図る。

#### III. 平成24年度決算および25年度予算 (概要)

【単位：千円】

科 目	24年度決算	25年度予算
収入の部		
前年度繰越金	8,275	7,703
収納金	14,916	12,981
雑収入	1	1
合計	23,192	20,685
支出の部		
運営費	6,854	6,640
業務・活動費	8,508	8,865
予備費	127	5,180
別途積立金	0	0
合計	15,489	20,685



## 平成25年度 佐賀大学同窓会役員名簿



平成25年5月現在

役 職	担当	氏 名	卒業年学科	役 職	担当	氏 名	卒業年学科	役 職	担当	氏 名	卒業年学科
会 長		宮島 豊秀	教育・35小	理 事	広 報	光富 勝	農学・51農	理 事	庶 務	白武 義治	農学・51農
副会長		宮尾 正隆	教育・36美	〃	〃	吉賀 豊司	農学・H2園	〃	情 報	中村 隆敏	教育・61美
〃		石丸 新	文理・44法	〃	資 料	江口 信義	教育・36中	〃	〃	荒木 弘幸	経済・57管
〃		枝國源一郎	医学・H3医	〃	〃	江口 洋一	経済・48経	〃	〃	加藤 明	医学・63医
〃		秋永 正幸	理工・45機	〃	〃	古島 智恵	医学・H11看	〃	〃	米満 潔	理工・60化
〃		金丸 安隆	農学・43農	〃	〃	深井 澄夫	理工・53電子	〃	〃	田中 宗浩	農学・H4生
理事長		田中 正和	理工・48化	〃	〃	松永 章	農学・59農	〃	事務局長	瀬戸口 悟	教育・44小
副理事長		井上正一郎	教育・38中	〃	会 計	前村 晃	教育・45美	監 事		大庭 敏伸	教育・36中
〃		長 安六	文理・44経	〃	〃	木塚 徳男	経済・60経	〃		園田 章	経済・45経
〃		佐藤 武	医学・59医	〃	〃	野出 孝一	医学・63医	〃		松藤 彩	医学・H16看
〃		川副 操	農学・44農	〃	〃	椿 忠彦	理工・53物	〃		前山 道明	理工・46機
理 事	広 報	中島 範子	文教・H13学	〃	〃	光武 司	農学・51農	〃		松尾 正紀	農学・43農
〃	〃	釘本 勁	文理・44法	〃	庶 務	堤 公一	教育・H6教	顧 問		関本 優	文理・31経
〃	〃	江村 正	医学・62医	〃	〃	江口 邦子	経済・48経	〃		久間 善郎	文理・37法
〃	〃	中島 道夫	理工・47化	〃	〃	西村 知久	医学・H4医				
〃	〃	磯野 健一	理工・62工化	〃	〃	穂屋下 茂	理工・49機				

# 佐賀大学と佐賀大学同窓会との 意見交換会



定例の佐賀大学と佐賀大学同窓会との意見交換会が、4月25日(木)18:30より、ホテルニューオータニ佐賀において同窓会の主催で開催された。

大学側からは佛淵学長をはじめ理事(副学長)、幹事、事務局長、及び各学部長等、計10名の出席があり、同窓会側からは宮島会長、副会長、理事長、副理事長等、計12名が出席した。進行

は田中同窓会理事長によって行われた。

はじめに、主催者として宮島会長の挨拶があり、本同窓会の現在の会員数、関連会報類の発行状況、平成24年度のキャリアデザイン講座の実施等、同窓会及び各支部総会の活動状況について、リストを提示して説明がなされた。また、美術館建設に伴う寄付の集まりが微増にとどまっている状況について現況の報告がなされた。

佛淵学長から美術館建設に関する寄付金については、個人や団体の高額の寄付金等も集まり始めている状況が紹介され、楽観できるというわけではないが着実に増加してきていることが挨拶の中で紹介された。

各学部の状況説明は自由歓談の折ということで、大学については瀬口副学長、同窓会については田中理事長から双方の出席者の紹介が行われた。

中島副学長の乾杯の後、各席の随所で個別に自由歓談の形式で活発な意見交換が行われ、途中、同窓会理事佐藤氏による尺八の演奏で盛り上がり、盛会となった。

自由懇談の中では、入学式の保護者参加数が増加傾向にあり、保護者の佐賀大学に対する期待の大きさが推測されたこと、米国領事館から佐賀大学図書館へ米国関連書籍の寄付等の話題が挙げられていた。





## 「教師になる」という夢の実現に向かって

### ～教育実習と教員採用試験対策の状況～

私は小学校教諭を21年間、佐賀市教育委員会指導主事を3年間務めさせていただいた後、佐賀大学文化教育学部と佐賀県教育委員会の交流人事教員として、平成24年4月に佐賀大学に着任しました。母校で教員を務めさせていただけることは大変光栄なことであり、身の引き締まる思いです。

今回は、大学の大きな役割である「教員養成」に関して、「教育実習」と「教員採用試験対策講座」について、今の大学の取組を紹介します。

#### 地元の学校と連携した教育実習

「教育実習」は現在、1、2、3年次にそれぞれ「教育実践フィールド演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」、4年次に「中学校教育実習」「併免教育実習」が行われています。つまり、佐賀大学では1年次から4年次まで毎年、段階的・系統的に教育実習を実施しています。

実習の大きな特徴の一つに「地元の学校との連携」があります。1年次の「フィールド演習Ⅰ」では、1年次生が佐賀市内の10の小学校（勸興小、循誘小、日新小、赤松小、神野小、西与賀小、嘉瀬小、北川副小、新栄小、開成小）に、約10人ずつ配属され、10月から8週間、毎週火曜日に実習をさせていただいております。1年次生はまだ授業はしませんが、授業での個別指導や一緒に遊ぶなどして子ども達と触れ合うことにより、「学校っていいな、先生になりたいな」という気持ちを抱いて、4年間の大学での学びに意欲的に取り組んでいくことができます（写真）。また「中学校教育実習」では、今年佐賀市内18の中学校中15の中学校で佐賀大学の実習生を受け入れていただきました。従来の実習校であった附属小・中、附属特別支援学校、附属幼稚園、本庄小、城西中に加え、金立特別支援学校や大和特別支援学校でも実習生を受け入れていただいております。このように、地元の多くの学校の協力を得て、毎年400名近くの佐大生が教師になるための実務経験を積ませていただいております、大変有り難く思っております。

#### 「佐大生を教員に」という共通の目標に向けて

次に「教員採用試験対策講座」ですが、現在「有朋会」「学部教員」「キャリアセンター」の3つの部署が対策講座を開設して、採用試験合格を目指す学生の指導・支援を行っています。

有朋会の大先輩の先生方からは、論作文、模擬授業、面接等の懇切丁寧な指導を受けています。

学部の「教採ゼミ」は1月から開設します。自己PR文に始まり、過去問題演習、論作文、体育実技、ピアノ弾き歌い、英会話、模擬授業、面接等について学部（学校教育課程）教員が分担・協働して指導にあたります。

今年、佐賀県の教員採用試験では、全国で初めて、電子黒板を用いた「ICT利活用教育」が模擬授業に取り入れられます。ゼミにおいても、学生が電子黒板を使って試行錯誤しながら授業体験を積み重ね、指導力がつくよう頑張っています。

今の学生も昔の学生と同様、「教師になりたい」という熱い思いに変わりはありません。少子化や教職員の高齢化の影響もあり、教員採用試験は全国的に狭き門となっていますが、一生懸命に頑張っている彼らの教師になる夢を実現させることは、これからの日本の子ども達をより豊かに、たくましく育てていくことにつながります。

先輩である佐大生の夢の実現に向かって、私たち教員も努力を続けていきたいと思っております。

文責 篠原 一彦（教育・昭63卒）



# 平成25年度楠葉同窓会開催！

(H25. 5. 25)

平成25年度楠葉同窓会総会が、去る5月25日(土)午後4時から、佐賀駅前「佐賀ワシントンホテル」にて、各支部代議員の出席を得て盛大に開催されました。

今回は、役員改選が行われ、また新たな体制で楠葉同窓会を盛り上げていくこととなります。

## ○同窓会総会

初めに石丸同窓会会長の挨拶があり、今回の役員候補者のご紹介をされ、満場一致にて、新体制が承認されました。

審議事項では、平成24年度の事業報告及び決算報告が一括して行われ、了承後、引き続き平成25年度事業計画及び予算案についても異議なく了承されました。

なお、今回は、活発に意見の交換がされるよう、総会の審議事項を一旦終えた後に、別室にて各支部からの現状報告や質疑応答の時間が設けられました。



## ○懇親会

懇親会では、石丸会長の挨拶の後、新支部代議員である東京支部岩村竜也氏（S54・経営）に乾杯の音頭をしていただきました。会では、日頃の支部活動の話や悩み事、同窓会のあり方などの真面目な話から、学生時代の話、佐賀大学の近況等々大いに盛り上がりました。世代を超え、様々な分野で活躍している佐賀大学OBを頼もしく感じると共に、更に連帯の輪を若い卒業生まで広げていこうと、決意を新たに閉会しました。



# 日本の医療の国際化と医学教育について



神戸海星病院 安達 正時 (医22期)

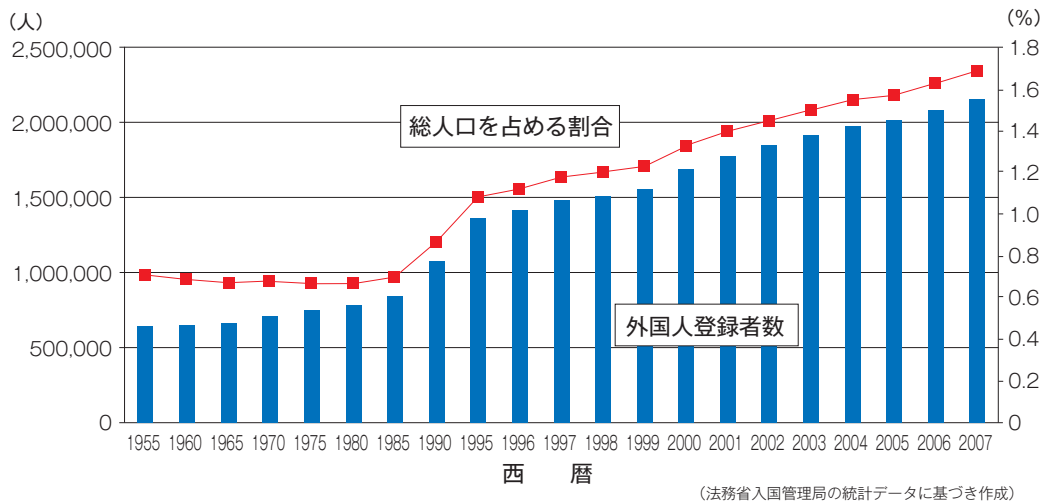
佐賀大学医学部平成17年卒の安達正時と申します。現在神戸海星病院の国際内科・小児科に勤務しています。当院は140年前にドイツ人医師により開院され、米国・カナダ・オーストラリア・ニュージーランド政府の指定を受けた医療機関として移民・外国人診療と地域医療を行っています。インドから帰国したばかりの神戸在住のインド人、ベトナム人労働者、シンガポールからのビジネスマン、両親の転勤に伴って来日した米国人男児、ウガンダからの留学生、ペルーからの移民家族、親戚を訪ねて初めて来日した日系カナダ人など。患者背景は様々ですが、特定の地域や人種に多く見られる疾患や、食文化や宗教的な慣習の違いを考慮して診療にあたっています。

しかし、こういった医療の国際化も神戸や都心部に限ったものではなくてきています。日本政府は、2008年に発足した観光庁を通じて外国人観光客の招聘を全国的に推進しています。また、メディカルツーリズムと称して日本の医療を海外へPRする活動も政府主導で始めています。さらに2010年に始まったミャンマー難民の第三国定住事業を受け難民申請者数も急増しています。日本の医療は国際化に向けて積極的に変化しています。

そんな中、先日佐賀大学医学部1年生を対象に講義をする機会を得ました。学生への課題として新聞やインターネットなどから国内外のニュースや事例をもとに、医療者として自身に求められる課題を考えてもらいました。医療通訳を目的とした医療ネットワーク立ち上げの事例からコミュニケーション能力と言葉を超えたコミュニケーション方法の課題。米国の医療保険制度改正の事例から国による医療制度の違いと日本における医療難民の課題。海外の新興感染症の事例から国境を越えた感染症対策の課題。スーダンの食糧不足の事例から貧困に付随する疾患への理解。四川大地震の事例から国際救援協力の課題。嚢胞線維症の遺伝子診断の事例から国際結婚の課題。日本の医療者として関わる可能性のある事例として学生は課題を挙げています。

欧米では多民族・多文化を前提に移民医療が医学教育に組み込まれてきましたが、日本ではあまり国際的な医療についての教育はされてきませんでした。佐賀大学は設立当初よりチュートリアル制度やPBL教育など欧米の医学教育法を積極的に取り入れています。日本の医療の国際化に伴い医学教育の現場がどのように学生の疑問に答えていくか、今後の課題かも知れません。

日本の外国人登録者数と総人口を占める割合





# 卒業生へのメッセージ

## —機械システム工学科の近況報告—

16



機械システム工学専攻 専攻長 張 波

機械工学科、生産機械工学科、機械システム工学科の卒業生の皆様、ご健勝のこととお慶び申し上げます。

もともと一体運営していた機械工学科と生産機械工学科が現在の機械システム工学科になったのは17年前の1997年4月のことです。講座の名前も環境流動システム学講座、熱エネルギーシステム学講座、先端材料システム学講座、設計生産システム学講座、知能機械システム学講座に改められ、組織的には昔の面影を色濃く残した形になっておりますが、昭和41年学科発足以来今日まで早くも47年が経ちましたので、初期の教員はもう誰一人も居なくなりました。現在の教授陣は環境流動システム学講座・松尾繁、木上洋一、熱エネルギーシステム学講座・宮良明男、光武雄一、先端材料システム学講座・萩原世也、服部信祐、設計生産システム学講座・張波、知能機械システム学講座・寺本顕武、辻村健です。また、門出政則教授と瀬戸口俊明教授は平成22年度から全国共同利用・共同研究拠点になった佐賀大学海洋エネルギー研究センターの所属になっております。

この20年間、大学院の教育が大きく変貌しました。1975年に初めて修士課程が設置された当時、定員8名、進学者2名だったのに対して、現在は機械システム工学専攻だけで定員27名で、他大学、他専攻（主に先端融合工学専攻）への進学者も含めると毎年の進学者数は50名近くに達しております。1991年に大学院理工学研究科を大学院工学系研究科に改組するとともに、博士後期課程が設置され、2010年度には

佐賀大学が大学院大学になり、教員の所属も学部から研究科に移りました。博士前期課程は物理科学専攻、機械システム工学専攻、電気電子工学専攻、知能情報システム学専攻、数理科学専攻、都市工学専攻、循環物質化学専攻で運営され、博士後期課程はシステム創成科学専攻にまとめられました。博士後期課程の定員は24名で、システム創成科学専攻の下には4つのコースに分かれ、コースはさらに部門に細分化されます。機械システム工学部門は物理科学部門とともに生産物質科学コースを構成しています。

機械システム工学科は、2005年11月に、日本技術者教育認定機構（JABEE）の審査を受け、学士課程における本学科の教育プログラムが、JABEEの技術者教育認定基準に適合していることが認定されました。認定期間満了を控えた2010年には、再び審査を受審し、継続認証が認められました。このように、機械システム工学科は、世界的に機械分野で活躍できる高度なモノづくり技術者を育成することを目標に、日々研究と教育を推し進めています。



## 菱実会総会開催のお知らせ

日時：平成25年8月9日(金) 17:30より

場所：佐賀大学「菱の実会館」多目的室

出席の際は、氏名、学科名、卒業年度を同窓会事務局までお知らせください。

E-mail dosokai@ai.is.saga-u.ac.jp TEL: 0952-23-1253 FAX: 0952-25-5700

# 「同窓生と在学生の絆を大切に」



佐賀大学農学部長 渡邊 啓一

同窓生の皆様、こんにちは。この4月に農学部長に就任しました渡邊です。まず、ご挨拶の前に、佐賀大学同窓会の運営にご尽力いただいている役員の方々には心から敬意を表すると共に、厚くお礼申し上げます。佐賀大学は法人化後10年目を迎え、6年間の第2期中期目標中期計画期間の折り返し点にあります。最近の国内外の社会情勢の大きな変化の中で、大学は知の拠点として社会変革の牽引役としての役割を果たすために、責務を問い直し改革に取り組もうとしているところです。これまで以上に重要な時期にあります。このような折に佐賀大学農学部長を拝命し、身の引き締まる思いが致します。

法人化後、長谷川学長のもと制定された佐賀大学憲章 (<http://www.saga-u.ac.jp/saga-u/kensyou.html>) を見直すと、佐賀大学のあるべき姿をよく表していると思います。「地域と共に未来に向けて発展し続ける大学」を目指し、「学生中心の大学」、「教育先導大学」をうたっています。日本の歴史を顧みると、閉塞した社会の変革の原動力は常に地方から生じています。佐賀大学が地域社会や産業界と連携しグローバルな展開を視野に入れて人材育成や技術開発により地域活性化の拠点となれば、ひいては我が国や国際社会の発展にも貢献できるものと信じています。

佐賀大学の使命の第一は、社会のニーズに応える

人材の育成にあります。そのためには、大学で学生に専門領域の基礎や語学力をしっかりと身に付けさせ、研究やフィールド実習を通して実践力を養うと共に、産官学の連携によるキャリア教育やインターンシップを一層充実させる必要があります。例えば、地域企業の経営者による講座などを通じて、学生が企業と率直に話し合える関係を築き、企業の魅力と課題を知り自分のキャリア設計に役立てる。創造力を持って社会の抱える課題をチャンスに変えることのできる人材を育てたいものです。

ここで、私が同窓生の皆様をお願いしたいことがあります。是非、在学生との絆を深めていただきたい。「産官学連携による人材育成」で、産官における第一の頼みの綱は、我が佐賀大学同窓生です。在学生は、皆様を同窓の先輩ということで身近に感じることができ、人生の目標としたり、反面教師としたり、何れにしても、彼らのキャリア設計に役立つと思います。これまで、農学部では、毎年、農学部同窓会の支援を受けて卒業生を数名お招きして、就職ガイダンスを開催しています。また、大学と同窓会の協賛で同窓生を講師としてキャリアデザイン講座が開かれています。私が農学部長の間に、「同窓生と在学生の絆」を深めるための仕組みをより一層強化して行きたいと思っていますので、どうかよろしくをお願いいたします。



## 同窓生の職場 ⑱

## NPO法人スポーツフォアオール

「佐賀県健康寿命請負人」あなたの仕事は何ですかと尋ねられたら、私はこう答えます。

「今日もみなさんに元気を届けに来ました!!」…という言葉を使い続けてはや1年。この1年間、私は数えきれないほどたくさんの人と出会い、本当の孫のように可愛がられ、「ありがとう」という言葉が絶えない場所で仕事をさせてもらいました。私の職場、NPO法人スポーツフォアオール（以下、SFA）は中高齢者の健康教室事業と子どものためのスポーツ教室事業を中心に活動しています。SFAでの私の主な仕事は中高齢者のみなさんと関わって健康教室事業を運営すること、生まれたばかりのSFAをこれからの社会で飛躍できる組織になるようつくりあげることです。

私がSFAに入るきっかけとなった佐賀大学健康教室について紹介します。この教室は健康増進、転倒予防などを目的として始まり、さまざまなトレーニングや健康に関するミニ講義等を、健康スポーツ講座の教員や多くの学生スタッフで運営しています。大学1年生の時の授業で健康教室を知り、全く知らない者同士、歳の離れた学生と地域住民とが大勢集まって交流することで、互いにとって素晴らしい時間となっていくことにおもしろさを感じ、この空間を提供できる仕事はこれからの時代に必要だと感じながら4年間学生ボランティアとして関わっていました。そんな折SFAを設立した私の指導教員から「安定した職場ではないけれど」と誘われて、迷わずこの道を選びました。

SFA健康教室事業は、もっと多くの人に運動してもらえるようにと平成23年より出張健康教室を始めました。佐賀市と協力して佐賀市内に広まり、今年度からは佐賀県と協力して県下全域で活動しています。たくさんの方に喜んでいただいております。現在のSFAは、ほとんど毎日佐賀県内のどこかで健康教室をしている状態です。ちょうど去年の今頃、同級生たちはいろいろな会社の新入社員とし

て、研修だ…経営理念だ…と戸惑いながらも一生懸命頑張っていました。SFAには、決められた仕事内容はありません。マニュアルや研修もありません。規則のようなものもほとんどありませんが、分からないことを教えてくれるベテラン課長や、困ったときの係長もいません。「職員の税金はどうやって支払うの?」「参加者さんからのクレーム処理は?」運営も経営も全て自分たちでやりくりしなければならず、分からないことで頭を抱えたときも多々ありました。そんな時はいつも、新しい場所で頑張っている同期の友達がいるということ、また、やりたいことができていることに喜びを感じながら少しずつ前進してきました。いま、私たちSFAが取り組んでいる仕事は、他にはできない仕事だと思いますし、SFAの一員として毎日誇りを持って活動しています。

この1年間に撮りためた健康教室の参加者さんや、スポーツ教室の子どもたちの写真は部屋の壁いっぱい飾られ、どの写真を見ても笑顔であふれています。ここは佐賀大学のもうひとつの美術館です。県内各地に教室が増えた分、運営していく中で大変なこともあります。スタッフ一同もこのたくさん笑顔に背中を押され、元気を発信しています。みなさんの笑顔に元気をもらい、今日もまた、佐賀のどこかに元気を届けに行ってきます。今後のSFAに期待してください。

小川 香織（文化教育学部・H24卒）



## 同窓生の**職場** ②

## 財団法人 佐賀県長寿社会振興財団

財団法人 佐賀県長寿社会振興財団は、シニア世代の皆さんの生きがいと健康づくりのお手伝いをしている団体です。

シニアの皆さんのスポーツの大会、「ねんりんピック」や、佐賀県立美術館で開催する「佐賀県高齢者美術展」などを主催しています。

私たちの事業の中で、一番大きなものが、「ゆめさが大学」です。

同窓会の先輩方にも、「ゆめさが大学」へのご入学をぜひお勧めしたいと思います。

「ゆめさが大学」は、平成3年に高齢社会での地域活動のリーダー養成を目的に、「佐賀県高齢者大学」としてスタートしました。

高齢者の皆さんの学習と、地域活動の基礎になる仲間づくりの場として、20年間に3,500人を超える卒業生を輩出しました。

そして、開校から20年を過ぎた昨年、シニアの皆さんによりアクティブに活動していただきたいという思いを込めて、名称を新たに「ゆめさが大学」と改称し、再スタートを切りました。

これまで培われてきた経験を生かすこと、ふるさとを学び、そして、新たにチャレンジすることなど、シニアの皆さんの思いをかたちにできる“楽しみながら”学べるカリキュラムを目指しています。

ゆめさが大学は、2年制の講座です。開校日は、週に1回、年間30日です。午前、午後2時間ずつの講義を実施します。昨年度からは、強いご要望にお応えして、1年制の大学院も開設しました。

現在、佐賀、唐津、鹿島の3校を開校しており、在學生は630人を数えます。

概ね60歳以上の方ならどなたでもご入学いただ

けます。1年間の受講料は35,000円です。

講義の内容は、体験学習「やってみよう」など実践と実習を中心に、楽しみながら活動のノウハウを中心に学んでいただくためのものです。

指導者としての話し方、サークルの作り方・運営、リーダーシップ論について学び、ふるさとの歴史・風土、経済などのほか、簡単にできるニュースポーツなどの体を動かす講座もあります。

ボランティア実習や健康食の調理実習などもあります。長崎街道や、虹の松原、鹿島酒蔵通りを実際に歩いて、現地で解説を受けるなどの校外研修も楽しんでいただけます。

俳句入門や水墨画入門など、これまでやったことのないことに挑戦していただいて、自分の新たな可能性を見つけてもらう講座も用意しています。

幅広いカリキュラムで、「ゆめ」のある地域づくりのため、そして、心豊かに生きるため、新たな仲間とともに「学ぶよろこび」を分かちあっていたきたいと思います。

皆様のご入学、お待ち申し上げております。

鷲崎 秀行（経済・H7卒）



## ★ ★ ★ 写真を探しています。★ ★ ★

佐賀大学では今、校門の整備と美術館の建設という新たな装いが進行中です。

その一方で、私たちが学んだ時代の思い出深い学び舎が徐々に少なくなり、一抹の寂しさもあります。

そこで、同窓会では、思い出深い学び舎を中心に、デジタル資料として保存しておきたいと作業を始めました。皆様がお持ちの写真を送っていただ

と貴重な資料として保存致します。写真は、作業が済み次第お手元にお返し致します。

会員の皆様のご協力をお願いします。

佐賀大学同窓会庶務担当より

送り先 佐賀大学同窓会事務局

〒840-8502 佐賀市本庄町1番地 菱の実会館内

TEL 0952-23-1253 FAX 0952-25-5700

E-mail dosokai@ai.is.saga-u.ac.jp



# 支部だより

## 鹿児島県支部総会・懇親会

平成25年1月26日(土)午後6時半から、鹿児島市天文館の「魚ちゃん」において、鹿児島県支部の総会・懇親会を開催いたしました。

本会には本部から宮島同窓会長と各学部同窓会の代表者5名のご参加をいただき、県内各地からの支部会員18名(うち女性2名)が出席しました。

総会では上田耕平支部長(文理・S39卒)の挨拶に続き、本部を代表して宮島同窓会長から支部会開催の祝辞と大学の現況報告ならびに美術館事業募金依頼がありました。同窓会長による母校の教育環境の発展を肌で感じられる報告に、支部会員一同、感慨を深くした次第です。

懇親会は支部会員最年長の竹下 威氏(文理・S29卒)の乾杯で始まりしました。鹿児島の海の幸を味わった後、一人持ち時間3分という時間制限の中、自己紹介に移りました。参加者は教育・経済・理工・農学部から文理学部にわたっていますので、自己紹介の内容も出身学部を反映した個性的なものでした。途中質問が乱れ飛び、制限時間オーバーもありまし



たが、少人数とは思えないほど大いに盛り上がりしました。本会は、恒例により、出席者の中で最若手の川上修一氏(農・H8卒)の一本締めでお開きになりました。

鹿児島県支部総会は毎年1月最後の土曜日に開催しています。引越しや転勤で鹿児島県在住の同窓生の把握が難しいのですが、会員のネットワークと昨年からの本部同窓会事務局から学部ごとに案内を出していただいたおかげを持ちまして、今回は7名の初参加がありました。

鹿児島県支部はオープン参加大歓迎です。九州新幹線開通で佐賀駅から鹿児島中央駅までは2時間弱。全国の皆様の参加をお待ちしています。

鹿児島県支部事務局 西村希志子(農・S52卒)

## 「葉隠会」

(佐賀大学昭和41年卒同期会(福岡近辺在住))

平成25年2月8日(金)恒例の葉隠会新年会を開催しました。今回の会場は幹事の独断と偏見で、私の鞍手高校時代の後輩・渡辺重則君がオーナーの、中洲に近い春吉橋たもとレストラン「風雅」。参加者19名(会員数約30名)でした。毎回ほぼ同じメンバーの参加ですが年1回の再会はお互いに楽しい会となっています。たわいない話題が中心ですが肩に力の入らない癒しの時間を皆楽しみにしているようです。会の長続きの秘訣です。今回参加者の中からゴルフ旅行しようとの提案があり小代光義君が中心になって企画。5月10日(金)若宮ゴルフクラブ(宮若市)でプレイし近くの脇田温泉楠水閣一泊旅行(ゴルフバック旅行)を実行致しました。参加2組(6名)でしたが、スコアのことはあまり深刻に考えない楽しい旅行でした。この葉隠会の特徴は福岡近辺在住のS41年佐大全学同期会であること。正規の支部活動以外のプライベートな会合と言えます。開催の回

数を重ね今や癒しの同期会であり皆も密かにこの会の開催を待ち望んでいる会でもあります。今後とも皆のため、自分のため真面目に幹事役に徹するつもりです。最近会員の話題は年金、親の介護、病気や病院通い、未婚の息子や娘、孫、人生終末つまり自身の介護、相続、遺言等に関することが多くなりました。年寄りじみてしまうが仕方ないです。いやいや、まだまだ人生楽しむため体を鍛え気力充実させて、旅行や趣味・恋愛にもチャレンジする等心身ともに前向きに生きたいものです。

文責 白石 豊彦(文理・S41卒)





## 恩 師 情 報 ……この一年

平成24年7月～25年6月までの動向を掲載します（敬称略）

### 定年退職（平成25年）

真 田 英 進	文化教育学部教授	齋 藤 ひさ子	医学部看護学科母子看護学講座教授
撫 尾 知 信	文化教育学部教授	井 上 範 江	医学部看護学科看護基礎科学講座教授
前 村 晃	文化教育学部教授	三 苦 至	大学院工学系研究科教授
山 本 千 洋	文化教育学部教授	豊 島 耕 一	大学院工学系研究科教授
Jember Gregory Kirk	文化教育学部教授	鎌 田 雅 夫	大学院工学系研究科教授
田 川 正二郎	経済学部教授	谷 本 静 史	農学部教授
宮 島 敬 一	経済学部教授	藤 田 修 二	農学部教授
徳 永 藏	医学部医学科病因病態科学講座教授	松 本 亮 司	農学部教授
沖 波 聡	医学部医学科眼科学講座教授	江 崎 利 昭	全学教育機構教授
木 本 雅 夫	医学部医学科分子生命科学講座教授		

訃報 謹んでご冥福をお祈りします。

竹 山 尚 賢	佐大名誉教授（理工学部）	平成24年9月4日
西 田 善 彦	佐大名誉教授（理工学部）	平成24年12月8日
久 次 武 晴	佐賀医科大名誉教授（元附属病院長）	平成25年6月17日

## 第21回佐賀県青春寮歌祭のご案内

- ・日時 平成25年11月23日（土・祝） 13：00～17：00
- ・場所 佐賀市交流センター「エスプラッツホール」3階

参加ご希望の方は佐賀大学同窓会事務局までご連絡ください。

### 同窓会の動き（H25.1～H25.6）

- |                                      |   |
|--------------------------------------|---|
| 1. 1 佐大同窓会会報「楠の葉」No18 発行             | 3. 12 佐大同窓会「会計担当部会」                         |
| 7 佐大同窓会「第4回庶務担当部会」新年度会               | 14 佐大同窓会「第9回代表役員会」                          |
| 9 単位提供講座キャリアデザイン<br>／講師 野口 千明 氏（農学部） | 25 佐賀大学平成24年度学位記授与式<br>（学部生1,319名・大学院生325名） |
| 10 佐大同窓会「第7回代表役員会」                   | 4. 3 佐賀大学入学式<br>（学部生1,409名（留学生含む）・大学院生331名） |
| 16 単位提供講座キャリアデザイン 総括                 | 11 佐大同窓会「第1回代表役員会」                          |
| 23 単位提供講座キャリアデザイン 反省会<br>／同窓会事務局小会議室 | 18 佐大同窓会「春期定例役員会」                           |
| 26 鹿児島支部総会・懇親会／魚将 魚ちゃん               | 25 「佐賀大学と佐賀大学同窓会との意見交換会」                    |
| 2. 6 佐賀大学各学部後援会との打合せ会                | 5. 8 佐大同窓会「庶務・情報担当合同担当者会」                   |
| 6 佐大同窓会「広報担当部会」                      | 8 佐大同窓会会報「楠の葉」No19 編集会議                     |
| 14 佐大同窓会「第8回代表役員会」                   | 9 佐大同窓会「第2回代表役員会」                           |
| 14 佐賀大学美術館起工式                        | 6. 4 佐大同窓会「庶務・情報担当合同担当者会」                   |
| 3. 6 佐大同窓会「庶務担当部会」                   |   |

ご意見  
メール  
等募集

会報についてのご意見をお寄せいただく場合は、郵送のほか電話またはE-mailでも受付けております。